

デジタルpHセンサ Memosens CPS171D

バイオテクノロジー産業におけるバイオリアクタおよびファーマンタ用のMemosensガラス電極



利点:

- 非常に優れた精度、再現性、信頼性を備えたセンサにより生産収率を最大化するための最適な範囲内にpH値を保ちます。
- 特殊なガラス膜とリファレンスシステムがCIP/SIPおよびオートクレーブに対する耐久性（最高140°C/284°F）と長期的な安定性を提供します。
- Memosensテクノロジーにより湿気や腐食の影響を受けないケーブル接続：センサの最高の可用性とバッチの安全性を確保します。
- USPクラスVI準拠の生体適合性認証を取得し、FDA準拠の接液部を備え、細胞毒性なし、生物反応性なし、動物性材質を使用しない本センサは、製品品質を保護します。
- センサが提供するプロセスデータおよびセンサデータにより、センサが次のバッチに使用できる状態か、または交換が必要かを判断することができ、製品の安全性が大幅に向上します。
- 関連するセンサデータとプロセスデータをすべて自動的に保存・文書化するMemobase Plusソフトウェアを使用して、CPS171Dの効率的なメンテナンスが可能です。
- 各種防爆認定を取得しています。

詳細情報と現在の価格は以下をご覧ください:

www.jp.endress.com/CPS171D

仕様一覧

- **測定範囲** pH 0~14
- **プロセス温度** 0~135 °C (32~275 °F)
- **プロセス圧力** 絶対圧100~700 kPa (14.5~101.5 psi)

アプリケーション: Memosens CPS171Dを使用してバッチのpH値を最適な範囲内に保ち、生産収率を最大化することが可能です。堅牢な構造および長期的な安定性により、CIP/SIPやオートクレーブの後であっても極めて高い精度、再現性、信頼性の測定値が得られます。

Memosens CPS171Dは、最新世代のMemosensセンサではありません。機能を拡張した新しいMemosens CPS61Eセンサの情報は、[こちら](#)を御覧ください。

機能と仕様

pH

測定原理

電位差測定

アプリケーション

サニタリおよび無菌アプリケーション、バイオリアクター、発酵槽、バイオテクノロジー、医薬産業、食品産業

特性

バイオリアクターおよびバイオテクノロジー製造プロセス向けデジタルpH電極、イオントラップによる長期安定性に優れたリファレンス

測定範囲

pH
0～14

測定原理

セラミックダイアフラム、イオントラップ

構造

すべてのシャフト長で温度センサ付き
高度な固体電解質（ジェル）技術
Memosensテクノロジーを使用したデジタル電極

材質

ガラスおよびセラミック

外形寸法

口径：12 mm (0.47 inch)
シャフト長：120、225、360、425 mm
(4.72、8.86、14.2、16.7 inch)

pH

プロセス温度

0～135 °C (32～275 °F)

プロセス圧力

絶対圧100～700 kPa (14.5～101.5 psi)

温度センサ

NTC 30k

防爆規格適合証明書

IECEX、ATEX、NEPSI、FM、CSA

接続

電磁式、Memosensテクノロジー搭載のデジタル接続ヘッド

詳細情報 www.jp.endress.com/CPS171D